

JALグループの最新鋭機、B777-200ER 8月1日就航!

2002年7月31日

第 02043号

JALグループは、新鋭機材B777-200ERの初号機を8月1日にライン投入します。この機材は、JAL NEWS第00065号「JAL、2004年度までにMD11から高性能双発機への早期更新を決定!」で既にお知らせしている機材の初号機です。JALグループでは、標準型の-200型機、ストレッチ型の-300型機各々5機の計10機を国内線に投入しております。今回導入するB777-200ERは、B747-400よりも航続距離の長い機種で、JALグループでは初めて国際線へ投入するB777シリーズとなります。この機材の投入路線は、当面の間、中国、東南アジア等の中短距離路線となりますが、今後、ETOPS^{*}の承認が得られた段階で長距離国際線に順次展開する予定です。

国際線への導入を踏まえ、エンジンはゼネラルエレクトリック社製のGE90-94Bを装備しました。このエンジンはB777用に開発されたGE90エンジンの改良型で、同じハードウエアを持つエンジンの中で最大の推力を誇っており、その余裕ある推力で運航距離の長い国際線での運用が可能となります。

JALグループでは、先日就航したB767-300ER同様、今回導入するB777-200ERもエグゼクティブクラス/エコノミークラスの2クラス仕様としており、エコノミークラスでも「再生・早送り・巻き戻し」が自由にできるオンデマンド対応の映画、オーディオなど約40チャンネルが楽しめるMAGIC-3を装備しました。

次世代を担う、JALグループの新たな翼へ、皆様のご搭乗をお待ちしております。

[参考資料：各航空機諸元]

	B777-200ER	B777-200(JAL国内線使用)
全長(メートル)	63.7	63.7
装着エンジン	GE製 GE90-94B	PW製 PW4077
最大離陸重量(トン)	298	203
巡航速度(マッハ数)	0.84	0.84
標準座席数	302席	389席
航続距離	約14,390km	約4,740km

^{*}ETOPS: extended range operation with two-engine airplanesの略で、「双発機が緊急着陸可能な空港から、エンジン1基の巡航速度で60分以内のエリアを超えて運航する」場合の方式を意味する。現在日本では、米国同様に「207分までのETOPS(緊急着陸可能な空港から、エンジン1基の巡航速度で207分のエリアまで離れたところを運航すること)」が認められている。

以上